

令和7年度 第1回神栖市生涯学習推進会議 会議録

日 時 令和7年8月7日(木)

午前10時～11時50分

場 所 神栖市役所 5階501会議室

■出席者

野口委員、戸塚委員、加納委員、羽生委員、樋口委員、
渡邊委員、吉岡委員、小松原委員、石橋委員、糸川委員（10名）
新井教育部長、保立教育次長
文化スポーツ課 實川課長、大内補佐、宮川係長、岡内主幹（4名）

■傍聴者（定員10名）

0人

■会議内容

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 事務局紹介
- 4 案 件

（1）令和6年度神栖市生涯学習関連事業実施状況

令和6年度の神栖市生涯学習関連事業の実施状況について、基本目標ごとに事務局より説明しました。

【質疑応答】

基本目標I 未来を担うひとづくり

委 員

「地域子ども教室の開催」については、ボランティアの負担軽減のため開催回数を減らしたとありますが、回数を減らすと利用者数が減ってしまう傾向は他の事業にも言えることです。今回の事業評価がC（低下）でも、次年度は開催回数が増えることで、A（向上）になる可能性があります。ボランティアの人数が減らないよう、環境整備をおこなうなど工夫をおこなっていって欲しいです。

「赤ちゃんタイム・キッズタイムの開催」については、事業評価がC（低下）になっていますが、子どもの数が減少していく中で、こういった施策はどんどん進めていく必要があります。所管部署には実績向上のために、力を入れてもらいたいと思います。

また確認ですが、事業評価が毎年A（向上）の事業は、前年比5%以上増えが継続しているという認識で良いですか。

事 務 局

コロナ感染症の影響で、令和4年度に事業実績が低迷した分、令和5年度は大幅に増加するなど、年によって前年比の増減が異なってくる場合があります。毎年A（向上）の事業は、前年比5%以上が継続している認識になります。

委 員

事業評価は、前年比のみで評価すると、曖昧な評価になってしまい、全体の評価が見えづらくなってしまいます。単年度ではなく、複数年の伸び率を評価することで、B（維持）の評価でも良いと思います。

事 務 局

事業所管課と検討いたします。

基本目標Ⅱ 学びを支える環境づくり

委 員	「オンライン講座等の開催」については、通信環境整備で工事費用がかかるため、このまま推し進めていくのは難しいのではないでしょうか。
事務局	「オンライン講座等の開催」については、コロナ感染症の影響で対面での講座開催が難しかったので新規で追加しました。今は、状況も落ち着き対面での講座開催が可能になっております。各公民館は、市民の交流を図るためにも、対面講座で開催するのを重視していきたいという意見を持っており、今後の方向性については、改めて後期見直しで検討してまいります。
委 員	各公民館でのWi-Fi環境は整備されていると思っていたが整備されていないのでしょうか。
事務局	各公民館の一部のエリアであれば、Wi-Fiは使用可能ですが、講座が開催される会議室では、Wi-Fi環境が整っておりません。
委 員	これから時代、「オンライン講座等の開催」は、市としてDX化を進めていくためにも必要だと思います。事業評価が悪くても必要があるものなので、今後、後期見直しの際には公民館で引き続き進めたいと思います。
議 長	公民館は、オンライン講座の発信元になりますか。
事務局	公民館でおこなう講座なので、公民館が発信元になります。
議 長	「オンライン講座等の開催」の事業評価は、D（中止）となっておりますが、令和6年度の事業評価だけではなく、令和5年度の事業評価も資料に入れてみてはどうでしょうか。
事務局	いただいたご意見を踏まえて、資料の内容を改めて検討いたします。
委 員	オンライン講座をおこなう講師が、通信環境の整っている場所から発信すれば、わざわざ公民館に講師が足を運ばなくてもオンライン講座の開催が可能になり、講座数も増やせるのではないかでしょうか。
委 員	「オンライン講座等の開催」は、新たに講座を増やすのではなく、今おこなっている講座をオンラインで受講できるようにすることではないでしょうか。講座を受講する時に、公民館で直接受講するか、Zoomで受講するか選択ができる方が良いと思います。
議 長	「オンライン講座等の開催」については、公民館で計画しておこなっているものと理解していただきたいです。
委 員	事業評価がD（中止）のものは、ニーズがなくとも必要であれば継続する必要があると思います。

基本目標Ⅲ 学びでつながる仲間づくり

委 員	「ボランティア養成講座の開催」については、公的制度が拡充したこと、支援範囲が狭まり利用者件数が減少したとありますが、どういったことでしょうか。分かりやすく説明して欲しいです。
事務局	事業所管課に確認して、改めて回答します。
委 員	「みんなのギャラリーの貸出」については、事業評価がC（低下）と

事務局	ありますが、評価指標は何の数値をもとにしているのでしょうか。
委員	来場者数の数値をもとにしています。令和6年度の実績は、利用団体5団体、利用日数58日、来場者数523人になります。
事務局	「まちづくり地域サロンの開催」については、地域コミュニティ協議会に移行したことで廃止となりましたが、その考えでいくと、生涯学習ふれあい祭り「芸能発表会」の開催は、地域コミュニティ協議会に移行したので廃止になり、後期の見直しでも外すべきではないでしょうか。
委員	所管課である市民協働課に確認し、改めて回答します。
事務局	「防災士の養成」については、事業評価がA(向上)とありますが、防災士の資格の人数が増えたということでしょうか。また、他の団体から神栖市は防災士の人数は増えているが活用されていないという話を聞いたことがあります。先日の津波警報で避難所を開設した際などに協力してもらってはどうでしょうか。
委員	こちらは、防災士の資格の人数ではなく、防災士育成事業補助金の申請件数になります。また、先ほどの意見については、所管課に共有いたします。

(2) 第2次生涯学習推進計画（後期見直し）

資料に基づき、第2次生涯学習推進計画後期見直しの方向性について事務局より説明しました。

委員	新規事業に「インクルーシブスポーツの普及促進」とありますが、このインクルーシブスポーツという言葉 자체を普及する意味もあるのでしょうか。また、どういったものでしょうか。
事務局	現在は、かみすスポーツクラブの力を借りて、ボッチャなどのインクルーシブスポーツの普及をおこなっております。
委員	これからの中高年層の社会の中で、良い事業を追加したと思います。また「いばらきっ子郷土検定」とはどのようなものでしょうか。
事務局	中学校2年生を対象に、地域の問題等が出題され、市内で選抜をおこなった後、2月に県大会が開催されているものです。すでに実施されているものにはなりますが、郷土愛の醸成という施策の目的に一致しております。
委員	「伝承教室・伝承あそびの開催」に、伝承かるたを追加することも同じような考え方でしょうか。
事務局	伝承かるたについては、委員からご提案いただいたということもありますが、所管課である歴史民俗資料館でも、今後そういうものを取り入れる話が出ておりました。かるたの制作から準備が必要になりますが、実施に向けて進めていく予定です。
議長	いばらきっ子郷土検定については、どこが主催になりますか。
委員	県が主催する事業ではありますが、県大会の前に、市の代表を決めるために神栖市大会があり、それは文化スポーツ課の方で実施しております。
議長	「市民音楽祭の開催」については、補助金で実施していますか。

事務局	現在は、市の委託事業として実施しております。
委員	近年、少子高齢化が問題になっておりますが、そうした課題に対して、後期見直しで何か取り入れたりはしないのでしょうか。
委員	子ども達と高齢者が一緒におこなえる活動が、これからより一層大事になってくると思います。
委員	地域コミュニティでは、そのような活動をおこなっており、子ども達と高齢者が一緒におこなえる活動が地域コミュニティに移行していると思います。
委員	文章の中に、世代を超えた関わりというような表現があつても良いではないでしょうか。
委員	新たな施策で、障がい者の方や外国人の方に向けての取り組みはあります、若い世代に向けての取り組みがないように感じます。
委員	「夜間や休日での定期講座の開催」が、若い世代に向けた取り組みになっております。また、発表・交流機会を通じて、新しい仲間づくりに繋がっていくと思います。
議長	「図書等の配達貸出」はどのようなものでしょうか。
事務局	障がい者の方や目の見えない方など図書館に来館するのが困難な方に、郵送などで本の貸出をおこなうものになります。
委員	返却の際には、費用がかかるのでしょうか。
事務局	所管課に確認し返答いたします。今回の会議でいただいた質問事項については、次回の会議の際に返答いたします。

(3) その他

今後のスケジュール、研究交流会の案内について事務局より説明しました。

4 閉会

— 午前11時50分 —